

大規模通信障害発生時における 災害用統一SSID「00000JAPAN」の活用について

2023年5月23日

一般社団法人 無線LANビジネス推進連絡会

• 検討経緯

- ✓ 「非常時における事業者間ローミング等に関する検討会」第4回会合において、災害用統一SSID「00000JAPAN」の取組み内容について紹介
 - ✓ 2023年3月、電気通信事業者協会の携帯電話事業者各社様連名にて、非常時における通信手段確保の取組みの一環として、「00000JAPAN」を通信障害の発生時においても活用したい旨の要望を受領
- ➡ 当法人が定めるガイドラインを見直すことにより、提供意志のある事業者が対応可能とすることを検討

• 検討結果

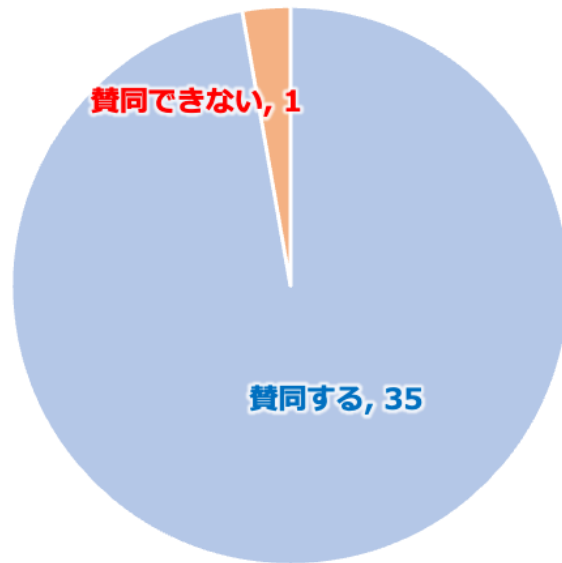
- ✓ 今回のガイドラインの改定について、現在「00000JAPAN」を提供する100団体を対象にアンケートを実施したところ、回答いただいた団体の多くが賛同意見であり、現時点で過半数の団体が通信障害時の「00000JAPAN」の提供意志があるとの回答であった

当該アンケート結果も踏まえ、**2023年5月18日付で、ガイドラインの改定を実施**

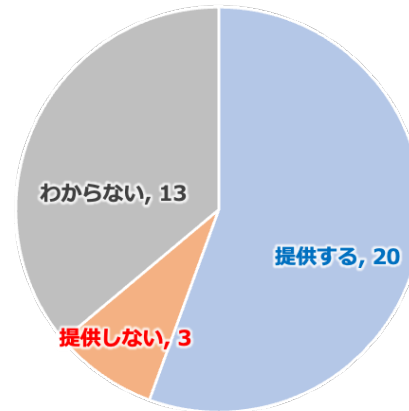
00000JAPAN認定事業者へのヒアリング結果

対象数 : 100 (通信キャリア : 8、自治体等 : 72、機器提供事業者20)
有効回答数 : 36 (通信キャリア : 7、自治体等 : 23、機器提供事業者 6)

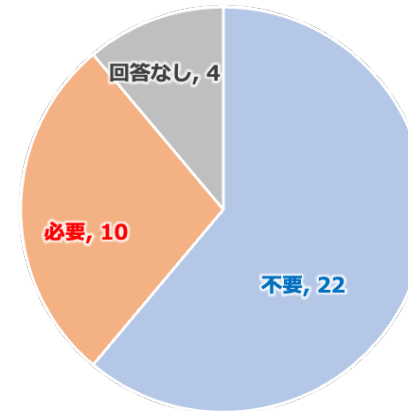
ガイドライン改定



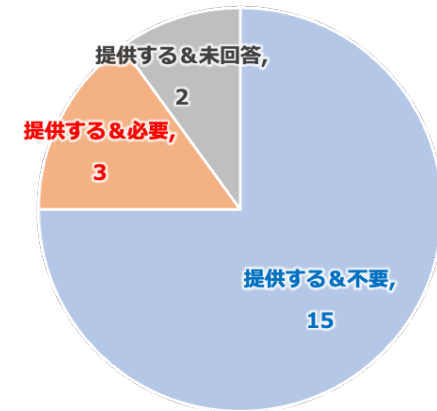
通信障害時の00000jAPAN提供



00000jAPAN提供時の費用負担



提供企業/団体が考える費用負担



「大規模災害発生時における公衆無線 LAN の無料開放に関するガイドライン」(第4.1版)に、第7項として「大規模通信障害発生時の適用」に関する項目を追加

➡ 2023年5月18日 第4.2版として公開

7. 大規模通信障害発生時の適用（令和5年追加）

7.1 通信障害発生時の公衆無線LANの無料開放

昨今、あらゆる社会経済活動においてデジタル化が進展し、情報通信インフラは従前より一層ライフラインとしての重要性を増している。これに伴い、通信事業者に障害が発生した際の社会に与える影響は大きく、実際に発生した大規模な通信障害を契機として、その対策が議論されることとなった。

よって、公衆無線LANにおいても、モバイル通信事業者の大規模な障害の発生時に、それを補完する通信インフラとして、自然災害の発生時と同様に災害時用統一SSID「00000JAPAN」を使った無料開放を行えるものとする。

7.2 開放に際しての運用等

公衆無線LANの無料開放に際しての技術的な手法ならびに提供者と利用者が留意すべきセキュリティに関する事項は、従前の自然災害発生時の対応と変わらない。また、その無料開放の実施判断は、従前通り公衆無線LANを運営する事業者等の自主的な判断に委ねられるものであり、実施を義務付けられるものではない。

但し、発動や終了の契機となる通信事業者の障害の発生及び影響範囲、収束状況等の情報の連携手法など、自然災害時と異なる運用面の検討が必要な点については、連絡会において検討を行うものとする。

アンケートでは費用負担を求める等の意見もあったが、自然災害での対応と同様に「00000JAPAN」の提供実施は各団体の自主的な判断によるため、過半数の提供意志がある団体が対応可能となるよう、早期に改定を行うこととした。

なお、運用面は今後の整理とするが、仮に至近で提供の必要が生じた際はベストエフォートでの暫定的な運用で対応する。

いのちをつなぐ 「00000JAPAN」

無線LANビジネス推進連絡会では「00000JAPAN」の利便性向上や周知啓蒙活動に引き続き取り組んで参ります。